

令和7年度 第2回地下水採取審査委員会 会議録

- 1 日時：令和7年10月31日（金）10：00～11：10
- 2 場所：座間市役所
- 3 出席者：委員 守田委員長、中島副委員長、宮下委員、大木委員
事務局 暮らし安全部長、生活安全課長、副主幹兼環境保全係長、主事
- 4 公開の可否 公開 一部公開 非公開

6 議題

- (1) 座間市地下水保全基本計画改定業務委託について
- (2) 有機フッ素化合物分析 地下水調査の結果について
- (3) 有機フッ素化合物分析 排水路調査の結果について
- (4) その他

7 配布資料

- 資料1 出席者名簿
- 資料2 地下水保全基本計画改定 中間報告
- 資料3 座間市地下水保全基本計画
- 資料4 座間市地下水保全基本計画（資料編）
- 資料5 令和7年度調査計画
- 資料6 地下水・湧水中の有機フッ素化合物分析結果（9月分）
- 資料7 市内分布結果表
- 資料8 市内分布結果図（非公開）
- 資料9 排水路中の有機フッ素化合物分析結果
- 資料10 排水路調査図

(1) 座間市地下水保全基本計画改定業務委託について

①事務局説明

事務局 今年度行う座間市地下水保全基本計画の改定作業についてご報告する。なお説明は当該事業の委託事業者から行う。

②質疑応答

中島委員 基本計画書の各図（例えば、P12）は、背景に地形や等高線を入れるなどして座間市の地形が分かるようにすること。

守田委員長 丘陵、台地、沖積低地などの地形区分が分かるだけでもよい。

事務局 図に応じて、背景に地形区分や等高線、標高などの情報を加える。

中島委員 基本計画書本編P36 取組方針の「環境用水として活用」は、「環境用水・地下水特産品として活用」にするとよい。

中島委員 基本計画書資料編P97 以降のシナリオ解析について、シナリオ5（将来の気候変動）の結果は、人口減少により地下水揚水量が減ると記載されている。一方で、P97の表では人口減少について触れられていない。気候変動により地下水揚水量

	が低下すると読み取られてしまう可能性がある。
事務局	気候変動する頃には、人口も減少していると推測した。P97の表は、星取表などを用いて整理し、シナリオ同士を比較しやすく修正する。
守田委員長	気候変動によって地下水揚水量が減ると誤解されないようにすること。
守田委員長	基本計画書資料編 P97 以降のシナリオ解析について、シナリオ 2（浸透ますの清掃あり）と 3（浸透ますの清掃なし）で解析結果の違いが分かりづらい。浸透ますの清掃の重要性について追記するとよい。
事務局	文章の追記等を検討する。
中島委員	基本計画書 P105 の有機フッ素化合物について、令和 8 年 4 月から水質基準項目に設定され、50ng/L が基準値になる旨を示すとよい。また、令和 7 年 6 月 30 日に指針値（暫定）が指針値に変更されたことも示すとよい。
守田委員長	上水漏水量の定義はなにか。
事務局	上下水道局が整理した無効水量を上水漏水量としている。
宮下委員	基本計画書 P17 の水収支解析について、河川も含めて解析を行って出力したものか。また、図中のどの数字を足し合わせると収入・支出になるかが分かりづらい。
事務局	GETFLOWS による水循環解析ではなく、Excel ベースで降水量の分配を計算している。収支については、図を工夫して分かりやすい記載に改める。また、蒸発散量や地下浸透量など各パラメータをどのように設定したか、一覧表で示せるよう作業を進めている。
宮下委員	基本計画書 P17 の水収支解析に令和 2 年とあるが、令和 2 年のデータが最新ものか。
事務局	令和 2 年の降水量が、直近 5 年間の降水量の中で、過去 20 年間の平年並みの降水量に最も近かったことから、令和 2 年の結果を図化して示している。資料編 P82 に示すよう、水収支は毎年計算している。
宮下委員	了解した。計画書を読んだ方が水収支の状況をイメージできるよう、工夫すること。
守田委員	水収支解析結果の図について、当初案では単位が体積（万 m ³ /年）で、降水量や地下浸透量の数値が直感的に分かりづらかった。地下浸透量 387mm/年を 365 日で割ると、概ね 1mm/日となる。これは、武蔵野台地での一般的なかん養量 1mm/日と遜色ない値である。 また、収入として降水量からの地下浸透量、上水道からの上水漏水量、上流の相模原市側からの流入に分けられるが、相模原市からの流入が占める割合が大きい。座間市の地下水は、相模原市から流入するものが多いと示すとよい。
守田委員	基本計画書本編 P60 基本計画の推進体制の図について、市民、事業者、座間市の中央に「水循環の健全化」とひと言追記するとよい。また、座間市の箱書きにある水位・水質のモニタリングや地下水採取量モニタリングは重要な活動である。着色や太字など装飾して目立つようにすること。
宮下委員	市民、事業者、座間市の中央には、基本理念「将来へつなぐ 座間の地下水」と

してはいかがか。

守田委員 宮下委員の意見を踏まえ、基本理念「将来へつなぐ 座間の地下水」を追加すること。

(2) 有機フッ素化合物分析について

座間市 平和橋（鳩川）下流流入排水路について、今年度の流量がかなり小さいが、既往結果と並べて比較してもよいか。

中島委員 昨年、一昨年に比べて流量は小さいがPFOAの濃度は増加している。最下流に位置する西栗原で濃度上昇していることから、底に溜まったものが溶け出している可能性がある。PFOSとPFOAの比率の変化を追えるようデータを蓄積していくことが重要である。

宮下委員 前回までは負荷量に換算して結果を比較していた。今回調査では、流量が極めて小さいので、負荷量に換算して比較することは難しい。濃度で見るとよい。

座間市 データを公表する時の留意点などがあれば教えてほしい。

宮下委員 測定した調査結果を淡々と示せばよい。流量については、流量が少ないので調査結果の精度は低いなどとコメントしてもよい。